

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	Entertainment Marketing II		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	マネージャー／レコードメーカーコース、ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:19年 (株)ホリプロにてマネジメント業務に従事、退社後は、音楽業界外の仕事にも従事しながら、有名アーティストをマネジメント。その後、ビクターエンタテインメント、ソニー・ミュージックエンタテインメントを渡りながら、現在は独立してマネジメント業務、イベント制作業務、ブランディング、キャスティングを請け負っている。				
授業概要					
アーティストを売り出すために必要なプロモーション方法をはじめ、アーティストケアの技術、プロフィールなどの宣材資料作成など、実践的な技術と考え方を学ぶ。					
到達目標					
アーティストスタッフとして新人発掘のために必要な知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	マーケティングとは ビジョンを考える
【前期】 4～8回目	機会やニーズを汲み取る
【前期】 9～13回目	相応しいお客さんを分析してマーケットを絞る
【前期】 14～18回目	競合他社から学び、他社の手法を検証する
【後期】 1～4回目	商品やサービスを見て、目に見えるフィードバックを得る
【後期】 5～10回目	マーケティングプランを組み立ててみる
【後期】 11～16回目	マーケティングを混ぜる マーケティングプランと自分のアイデア
【後期】 17～22回目	効果的に自分のプランを用いて結論に導く マーケティング力を強めて維持するために
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	今や国内だけに留まらず世界を相手にしてマーケティングを行うため、国や時代によってどんな方法があるのかを学ぶことで柔軟な思考を養う。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリア講座Ⅱ	授業形態/必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	マネージャー/レコードメーカーコース、ファンクラブ/デザインコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴				
授業概要				
名刺交換や電話対応、マナーなど、ビジネス上での一般常識を学ぶ。				
到達目標				
ビジネス上の一般常識の修得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	求人票の見方・用語/雇用形態/給与の見方
【前期】 4～8回目	履歴書の書き方/自己PRと自己分析/服装・身だしなみ
【前期】 9～13回目	面接の種類と段階/面接の受け方 メールの書き方/送付状の書き方/封筒の書き方
【前期】 14～18回目	電話対応/マナー講習/敬語 コミュニケーションについて/名刺の渡し方
【後期】 1～4回目	Word: 書式設定/条件付き書式/表の作成/タブやインデント
【後期】 5～8回目	Word: 行間の調整/文章の書き方/タイピング/印刷範囲設定/PDF保存
【後期】 9～13回目	Excel: 書式設定/条件付き書式/リスト作成/フィルター/計算
【後期】 14～19回目	Excel: オートSUM/図形作成/印刷範囲設定/PDF保存
【後期】 20～24回目	Official: Word、Excelの互換性と応用テクニック
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	社会人として必要な、基礎的なビジネス文章の作成能力やコミュニケーション能力を高めていく授業となる。会社の仕組みを学び、仕事の基本を知ることであらゆるビジネスシーンで求められる接遇力をしっかり取得する。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台・制作講座	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	マネージャー／レコードメーカーコース、ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:31年 グッズ販売、ローディーを経験後 (株)ロードアンドスカイ及び系列の(株)グラスホッパーにてマネージャーとして従事。その後、(株)セブンスソフトハウスにてコンサート制作としてホール、アリーナ、ドーム公演を経験。(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシーでのマネージャーを経て、演劇制作として5年間活動中。				
授業概要					
アーティストが主役となるステージ、レコーディングの現場となるスタジオ等の場面における、スタッフとして必要な基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
楽器や業界用語を取り入れた現場での対応法や知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ライブ制作: スタッフの仕事を知る
【前期】 6～10回目	ライブ制作: 企画から実現まで／お金の流れ
【前期】 11～15回目	ライブ制作: セット図／セットリストについて
【前期】 16～20回目	ライブ制作: 演奏と舞台の違い／現場スタッフとの付き合い方
【後期】 1～5回目	ライブ制作: 宣伝／グッズ
【後期】 6～10回目	ライブ制作: ステージ用語／楽器／機材
【後期】 11～15回目	レコーディング: スタッフの仕事を知る レコーディング: 企画から実現まで／お金の流れ
【後期】 16～20回目	レコーディング: スタジオ用語を覚える レコーディング: 譜面／機材
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ステージやレコーディングで必要な用語や知識を蓄える。現場に良く出てくる言葉などを中心に解説/紹介を行い、イベント企画の提案から予算組み、各所折衝、プロモーション活動、使用許可などの事務、予算管理、実施から報告書づくりまで、全体の流れを学ぶ。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロデュースワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修
	年次	年間授業数	40回(80単位時間)	2年次	年間単位数
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	マネージャー／レコードメーカーコース、ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で、数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。				
授業概要					
プロデュース、プロデューサーに関することを学び、プロデュースに関する討論等を行う。					
到達目標					
プロデュースに関する各種知識の修得 プレゼンテーション能力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	プロデューサーを知る 基礎学習:プロデュース、プロデューサーとは
【前期】 4～8回目	基礎学習:音楽プロデュースシステムが発達した事由 基礎学習:プロデューサーの役割
【前期】 9～13回目	グループワーク:プロデュースの対象物、対象者を決める グループワーク:プロデュースの目標を立て、実現させるためのプランを考える
【前期】 14～18回目	グループワーク:必要なもの、人、情報、データを探し、入手するための方法を考える グループワーク:プロデュース・プランニング、具体的シミュレーション
【後期】 1～5回目	グループワーク:プレゼンテーション準備 グループワーク:プレゼンテーション
【後期】 6～10回目	グループワーク:それぞれの目線での考え方 グループワーク:ディベートの進め方 グループワーク:ディベート
【後期】 11～16回目	グループワーク:「自分」を「自分の夢を」プロデュースする グループワーク:結果に結びつけるためには何が必要か
【後期】 17～22回目	グループワーク:プロデュース グループワーク:実習アーティストの将来をプロデュース
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	プロデュースという単語に含まれる本来の意味をしっかりと学び、企画～実行～拡散といった流れを自ら生み出す思考を生み出す。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デザインPC講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
webに関する各種基礎知識、HP制作ツールであるCMS、Illustrator、Photoshop等を使用したアーティストのフライヤーやポスター制作および色彩に関するデザイン知識について学ぶ。					
到達目標					
CMSの基本的な使用方法等の技術と、Illustrator、Photoshop等の応用操作技術の習得。デザイン力の向上。色彩に関する知識の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	デザイン基礎 入稿作成データについて
【前期】 4～8回目	Photoshop／WEBデザインの基本 WEBデザイン／スマートフォン版 Photoshop／バナー作成
【前期】 9～13回目	色彩理論／基礎 色彩理論／応用 デザイン／文字について
【前期】 14～18回目	WEB用データ: WEB対応の画像の作成およびデザインにおけるの見せ方など デザインについて: デザインのチェックポイントについて(バランスや色使いについて)
【後期】 1～5回目	Illustrator／ロゴ作成 Illustrator／エディトリアルデザイン Illustrator／チラシ制作
【後期】 6～10回目	Photoshop／写真レタッチ／写真加工 Photoshop／レイヤースタイルを使ったタイトルロゴ、見出し Photoshop／エフェクト加工
【後期】 11～14回目	Illustrator: 便利ツール・応用 Photoshop: 便利ツール・応用
【後期】 15～18回目	After Effect／基本操作～簡単なエフェクトでリアル画像
【後期】 19～22回目	CMSおよびWordPressについて ポートフォリオ作成: WordPressを使ってポートフォリオ作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	多様な端末が普及したことで現在インターネットは新しいコミュニケーションツールとして定着しました。サイト制作者とユーザーのコミュニケーションをより良質にするために、欠かせない知識を習得します。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン実習Ⅱ	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	マネージャー／レコードメーカーコース、ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
PCを使った資料・印刷物作成の技術を中心に、映像の編集などの技術、音声ファイル等のファイルの知識、Web制作など、PC技術の向上を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
Photoshop、Illustratorを使ったフライヤーなどの印刷物の入稿データ作成や映像編集の技術の向上。Web制作における技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	Illustrator/Photoshop: 1年次の復習
【前期】 4～8回目	Illustrator/Photoshop: 書類や印刷物の作成方法 Illustrator/Photoshop: アーティストフライヤーの作成 Illustrator/Photoshop: CDジャケット案作成
【前期】 9～13回目	映像制作の知識と操作 音声ファイル等の知識と扱い方
【前期】 14～18回目	imovie: 写真を利用した動画編集／動画編集、音声ファイルの切り出し、書き出し
【後期】 1～4回目	Premiere: 基本的な操作／動画編集／書き出し
【後期】 5～9回目	Web用データ: Web対応の画像の作成およびデザインにおけるの見せ方など
【後期】 10～14回目	WordPress: UI／使い方／カスタム WordPress: プラグインを使ったフォーム作成 WordPress: 簡単なサイト作成／テーマ選び／デザイン案／カスタマイズ／完成
【後期】 15～19回目	Web基礎: WEBと紙の違いについて Web基礎: WEB制作におけるの専門知識
【後期】 20～24回目	Web制作: タグの使用ルール／基本的なタグ／サンプルページの作成 Web制作: 要素／属性／値／align／img／絶対パスと相対パス Web制作: サンプルページ完成／illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	illustrator、Photoshopを活用しデザイン・印刷など主にDTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術、Web制作技術を学ぶ。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ファンクラブ実習	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：19年 音楽専門学校卒業後、レコード会社で宣伝、制作、マネジメントを経験。担当アーティストが紅白歌合戦出場。その後広告代理店でデザインを学び、当時担当していたアーティストの個人事務所にて、マネジメント、ファンクラブ、グッズデザインなどマネジメント全般を担当。現在はフリーランスのデザイナーとしても活動中。				
授業概要					
プロダクション実習と連動を行いながら、“ファンクラブ”とは何か、そのあり方を考え学ぶ。					
到達目標					
冊子制作のノウハウの習得、企画～印刷発注まで行なうことができる グッズ制作のノウハウの習得、企画や予算にあった業者選びができる サイトプランニング、運営のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	グループワーク：プロデュースの対象物、対象者を決める グループワーク：プロデュースの目標を立て、実現させるためのプランを考える
【前期】 11～20回目	Web・会報誌用写真撮影：プリプロ写真撮影／レコーディング写真撮影 Web・会報誌用写真撮影：ジャケット写真撮影／アーティスト写真撮影
【前期】 21～30回目	ファンサイト運営：デザイン～レイアウト
【前期】 31～40回目	ファンサイト運営：設計～運営
【後期】 1～10回目	会報誌制作：デザイン～レイアウト
【後期】 11～20回目	会報誌制作：会報誌制作～入稿～納品
【後期】 21～30回目	グッズ制作：デザイン～レイアウト
【後期】 31～39回目	グッズ制作：入稿～納品～販売
【後期】 40～44回目	アーティスト引き継ぎ
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	グッズ作成をする上で必要な幅広い知識を身につけ、マーケティングの知識、SNSでの発信方法、またそれに伴う影響力も学び考えることで、より実践的なスキルを身につけることができる。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実習Ⅱ	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	マネージャー／レコードメーカーコース、ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験28年 1976～1992年アーティストとしてバンドやソロで活動。音楽教則本の出版物も数多くあり、プレイヤーのみならず作家としても活躍する。歌手を引退してからはマネジメント業界に籍を置き、数多くのアーティストを世に排出する。現在は独立し代表プロデューサーとしてアーティスト・音楽制作・俳優・タレントのマネジメント業務を行う。				
授業概要					
他コースとの連携により、アーティストの育成、CD、MVの制作、会報誌、グッズの制作をしアーティストのマネジメントプロモーションを行う。					
到達目標					
マネージャーの役割、仕事、心構えの理解、企画力、スケジュールリング力、プロデュース力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	年間を通してのスケジュールリング アーティストプロデュース
【前期】 11～20回目	プリプロダクション
【前期】 21～30回目	ヴォーカルレコーディング 楽器レコーディング
【前期】 31～40回目	ミックスダウン マスタリング
【後期】 1～10回目	編成会議資料作成～準備～編成会議 ジャケット写真撮影
【後期】 11～20回目	アーティスト写真撮影 ミュージックビデオ撮影
【後期】 21～30回目	会報誌制作 グッズ制作
【後期】 31～39回目	宣伝プランニング メディアプロモーション
【後期】 40～44回目	セールスプロモーション 効果的なマーチャンダイズの企画、作成、販売
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	アーティストの協力の元、ライブ制作、CD制作、ミュージックビデオ制作、プロモーションなど、プロダクションやレコード会社で行う一連の流れを学んでいく。音楽業界で実際に行われている業務を一通り経験することができる。
使用教科書	随時プリント資料配布



専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(32単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	マネージャー／レコードメーカーコース、ファンクラブ／デザインコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					

授業計画・内容	
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント リハーサル見学
2回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント
3～4回目	学園祭準備①②
5～6回目	学園祭①②
7回目	学園祭片付け、原状回復
8回目	外部企業見学
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布